



Web サイトを活用した情報発信と情報収集、閲覧動向に関する研究

研究代表者：白阪 琢磨（国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS 先端医療開発センター）

研究協力者：湯川 真朗（有限会社キートン）

研究要旨

HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究班の Web サイト www.haart-support.jp は 2004 年に開設し、その後、継続的に研究分担者の成果や講習会の情報など、患者向け情報から医療関係者向け情報まで多様なコンテンツを掲載している。

この報告書では 2019 年 3 月以降の更新内容とアクセス数を報告する。またホームページ上ではアンケートや、記載内容の有用性についてユーザーが評価できるシステム（以下、ページアンケート）を導入しており、その集計も報告する。

なおアクセス数の集計には Google アナリティクス /Google Tag Manager/Search Console を利用しているが、個人を特定できる情報は収集していない。

研究目的

本研究では 2007 年から継続してアクセス状況を集計しているため、閲覧されているページやその数（ページビュー）がどのように変化しているかを把握することが可能である。その動向から閲覧者がどのような手段、キーワードでアクセスしてきているかを分析することで閲覧者のニーズを把握し、効果的な情報発信の手法を構築することを目的とする。

研究方法

(1) PC/スマートフォンに対応したサイト構築

分担研究者の研究内容や研究成果を随時ホームページ上に公開する。閲覧可能な端末は PC の各種ブラウザ（Edge, Chrome, Firefox, Safari）とスマートフォン（iOS, Android）でそれぞれ最適な表示がされるようにする。

(2) アクセスログの解析

Google アナリティクス /Google Tag Manager/Search Console を採用し、訪問数やページビュー数などを解析できるようにする。

(3) 個別ページから送信するページアンケート

各ページ下部に「このページは役に立ちましたか？」との質問に対して評価項目を選択し、送信できるプログラムを設置している。（図 1）

図 1 ページアンケート

送信ページも把握できるようにしているため、ページごとに評価の分析が可能である。

(4) Web サイト全体に関するアンケート

サイト全体に関するアンケートの送信ページを設置している。設問内容は以下のとおり。

1. このホームページをどこでお知りになりました

か？

【選択項目】 検索エンジン／他のホームページからのリンク／友人・知人に教えてもらった／その他

2. お薬情報コーナーで役に立った内容はどれですか？

【選択項目】 薬カード／Q & A／患者向説明文書（翻訳）／添付文書

3. このホームページに追加してほしい情報があれば、ご記入ください。

4. このホームページに関するご意見、ご要望があればご記入ください。

5. 抗 HIV 薬の服薬を支援する方法を検討するため、定期的にアンケート調査を実施したいと考えています。アンケート調査のお知らせをご連絡してもいい場合は、メールアドレスをご記入ください。

6. 年齢

7. 性別

8. あなたの立場についてお教えてください。

【選択項目】 患者／患者の家族・友人等／医療関係者／その他

研究結果

(1) コンテンツの更新

表 1 コンテンツの更新履歴

2019年	内容 (分担研究者)
3月28日	抗 HIV 治療ガイドライン 2019年3月版 PDF を掲載
5月7日	抗 HIV 治療ガイドラインのスマートフォン・PC版を公開 「資料・冊子・研究報告書のダウンロード」に「HIV/AIDSの正しい知識(第2版)」と「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと(2019年3月発行)」を掲載 HIV 看護・介護の質の向上と学校での HIV 予防教育実践に関する研究を更新。
5月22日	推奨処方エビデンスとなる臨床試験に、1489 試験, 1490 試験, ONCEMRK 試験を追加
6月3日	2019年度研究報告書 PDF をアップ
7月23日	冊子(紙媒体)の郵送お申し込みページを新設
8月21日	抗 HIV 治療ガイドライン改訂 シムツェザの承認による追記
7月～9月	・おくすりガイドの添付文書を更新。 ・アイセントレス錠 600mg、シムツェザ配合錠、ジャルカ配合錠、ピクトルビ配合錠、オデフシ配合錠の添付文書を掲載

・クリキシバンカプセル 200mg およびインビラーゼカプセル 200mg / インビラーゼ錠 500mg を削除
・カレトラ配合錠、カレトラ配合内用液、シーエルセントリ錠 150mg、スタリビルド配合錠、コムプレラ配合錠、トリーメク配合錠、ゲンボイヤ配合錠、テビケイ錠 50mg の各添付文書を更新
・薬カードを削除

(2) アクセス解析

2019年1月1日から同年12月31日までを集計した。また参考として前年の2018年の集計も併記した。

① セッション (訪問数)

セッション (訪問数) とは、ユーザーが当サイトに訪れてから他のサイトに移動する (またはブラウザを閉じる) までの一連の行動のことである。他のサイトに移動 (またはブラウザを閉じる) して30分を経過すると、同じユーザーでも新たなセッションとしてカウントされる。2019年1月1日から同年12月31日までのセッション数は378,462で、前年から約2.6倍に増加した。(表2)

表 2 1ヶ月ごとのセッション数

月	2019年	2018年
1月	28,212	5,256
2月	24,260	4,360
3月	27,323	6,949
4月	30,402	8,207
5月	37,040	10,707
6月	33,615	11,708
7月	36,018	12,460
8月	30,839	15,094
9月	32,453	17,299
10月	32,727	26,436
11月	32,361	26,112
12月	33,212	22,904
合計	378,462	167,492

② ページビュー数

ページビュー (PV) 数は、ユーザーが閲覧したページをすべて集計したものである。2019年1月1日から同年12月31日までのページビュー数は578,473で、前年の2018年から約2.1倍に増加した。(表3)

表3 1ヶ月ごとのPV数

月	2019年	2018年
1月	42,475	8,112
2月	35,430	6,582
3月	41,839	10,995
4月	44,653	13,590
5月	56,518	17,236
6月	52,434	18,941
7月	55,088	20,452
8月	47,001	24,968
9月	50,309	27,075
10月	51,672	38,441
11月	50,667	38,442
12月	50,387	36,239
合計	578,473	261,073

③ 流入元と検索性

どのような経路でアクセスしてきたかを表4に示す。

表4 流入元別セッション数

流入元	2019年 (%)	2018年 (%)
キーワード検索	350,396 (92.58%)	145,748 (87.02%)
お気に入り/ブックマーク/メールのURL等	20,604 (5.44%)	15,010 (8.96%)
他サイトからの参照	7,271 (1.92%)	6,576 (3.93%)
ソーシャルメディア	189 (0.05%)	158 (0.09%)
その他	2 (0.00%)	0 (0.00%)
合計	378,462	167,492

流入元としてはキーワード検索が92%を占める。検索サイトではGoogleが最も多く(63.2%)、Googleで検索されたキーワードを集計したのが表5である。

表5 Googleでの検索キーワード

検索キーワード	クリック数	表示回数	CTR ¹⁾	掲載順位
hiv 初期症状	22,558	138,102	16.33%	3.41
エイズ 初期症状	13,347	101,917	13.1%	3.58
エイズ 症状	4,703	139,279	3.38%	10.26
過敏症	4,513	55,956	8.07%	3.65
hiv 症状	4,127	91,506	4.51%	9.93
弛張熱	3,903	23,370	16.7%	3.5
hiv 初期症状 発熱	3,704	13,363	27.72%	2.09
間欠熱	2,942	11,812	24.91%	2.29
紫斑	2,763	4,0751	6.78%	7.62
hiv ガイドライン	2,398	3,100	77.35%	1

¹⁾ CTR：クリック率

④ アクセス端末

閲覧者の端末はモバイル（スマートフォン）が最も多く、その比率は年々増加してきている。（表6）

表6 端末別セッション数

デバイス	2019年	2018年
モバイル	274,945 (72.65%)	102,190 (61.01%)
デスクトップ	85,903 (22.70%)	53,711 (32.07%)
タブレット	17,614 (4.65%)	11,591 (6.92%)
合計	378,462	167,492

⑤ 抗HIV治療ガイドライン（研究分担者：四本美保子、鯉淵智彦）

2019年1月1日～同年12月31日までの閲覧総数は151,151であった。内訳を表7に示す。



図2 2019年3月版

表7 抗HIV治療ガイドライン閲覧数内訳

イベント種別	閲覧数
PDF版（改訂版含む）	13,412
初回治療推奨薬の改訂について	2,341
スマートフォン/PC版	135,398
合計	151,151

2018年11月27日からはスマートフォンでも最適な表示がされるようHTMLページを作成した（スマートフォン/PC版）。単に印刷物と同じ形式をホームページに再現するのではなく、表を作り直すなどしたため、PDFでは拡大しなければ読めないところも容易に閲覧できるようになった。（図3）



図 3 スマートフォン表示の例

HTML ページは 99 ページあり、アクセス数の多い 10 ページを表 8 に示す。

表 8 抗 HIV 治療ガイドライン ページごとのビュー数

ページタイトル	PV 数
抗 HIV 薬選択の基本	18,033
抗 HIV 薬の作用機序	12,936
はじめに	5,765
HIV 感染症の自然経過	5,747
治療開始時期と治療成績	4,678
副作用に関する配慮	3,828
臨床経過	3,303
中枢神経症状・精神症状	2,857
目次	2,319
HIV 感染症の病状を把握するためのパラメーター	2,182
以下省略	
2019 年の総ページビュー数	135,398

⑥ 推奨処方エビデンスとなる臨床試験 (鯉淵智彦)

推奨される組み合わせ

DTG/ABC/3TC
 SPRING-2, SINGLE, FLAMINGO, 1489 NEW

DTG+TAF/FTC
 1490 NEW

RAL+TAF/FTC
 (※TDF/FTCとして ONCEMRK NEW, STARTMRK, SPRING-2)

EVG/cobi/TAF/FTC
 GS104, GS111

BIC/TAF/FTC
 1489 NEW, 1490 NEW

RPV/TAF/FTC
 (※RPV/TDF/FTCとして ECHO, THRIVE)

(DRV+rvtv or DRV/c)+TAF/FTC
 (※TDF/FTCとして ARTEMIS, FLAMINGO)

- 赤字が主要な比較試験。
- グリーンは対照群となっているもの。

過去の臨床試験

- NCT01440569試験: DRV/c + TDF/FTC
- GS102試験, GS103試験: EVG/cobi/TDF/FTC
- CASTLE試験: ATV + rtv + TDF/FTC
- ALERT試験: ATV + rtv + TDF/FTC
- CNA30024試験: EFV + ABC/3TC
- GS934試験: EFV + TDF/FTC
- ACTG5202試験: EFV + TDF/FTC, EFV + ABC/3TC, ATV + rtv + TDF/FTC, ATV + rtv + ABC/3TC

診療の参考となるその他の臨床試験

- 早期の抗HIV治療が二次感染予防となるかを評価 (HPTN052試験)
- TDF/FTC群とABC/3TC群の48週後の腎機能評価 (ASSERT試験)
- CD4数に応じて治療開始と中断を繰り返す間欠治療群と、治療継続群とを比較 (SMART試験)
- キードラッグ2剤のみを使用した場合の効果 (ACTG5142試験)
- 治療開始基準の参考となる大規模コホート (NA-ACCORD)
- 抗HIV薬と心筋梗塞のリスク評価 (D:A:D試験)

図 4 推奨処方エビデンスとなる臨床試験

2019 年の総ページビュー数は 1,733 であった (前年は 2,249)。各試験ごとのページビュー数は表 9 のとおりである。なお各試験は公開時期が異なるため単純な比較はできない。

表 9 試験別 PV 数

試験名	2019	2018
SMART 試験 間欠治療群と、治療継続群とを比較	186	129
HPTN052 試験 早期の抗 HIV 治療が二次感染予防となるかを評価	148	203
ACTG5142 試験 キードラッグ 2 剤のみを使用した場合の効果	106	132
SPRING-2 試験 DTG+NRTI2 剤 vs RAL+NRTI2 剤	59	79
FLAMINGO 試験 DTG+2NRTIs vs DRV rvtv+2NRTIs	45	85

D:A:D 試験 抗 HIV 薬と心筋梗塞のリスク評価	43	85
GS104, GS111 試験 EVG/cobi/FTC/TAF vs EVG/cobi/FTC/TDF	41	91
NA-ACCORD 試験 治療開始基準の参考となる大規模コホート	40	26
1489 試験 BIC/TAF/FTC vs ABC/3TC/DTG	35	0
ARTEMIS 試験 LPV/r を対照群とし、DRV/r の非劣性の RCT	31	41
1490 試験 BIC/TAF/FTC vs DTG+TAF/FTC	28	0
SINGLE 試験 DTG+ABC/3TC vs EFV/TDF/FTC	28	132
ASSERT 試験 TDF/FTC 群と ABC/3TC 群の 48 週後の腎機能評価	27	44
ECHO 試験 RPV+TDF/FTC vs EFV+TDF/FTC	26	33
ACTG5202 試験 ABC/3TC 群と TDF/FTC 群のランダム化比較試験	25	40
CASTLE 試験 LPV/r を対照群とし、ATV/r の非劣性の RCT	25	13
GS103 試験 EVG/cobi/FTC/TAF vs TDF/FTC/ATV rtv	25	20
NCT01440569 試験 DRV/c の試験（アメリカ、56 施設）	25	28
THRIVE 試験 RPV+2NRTIs vs EFV+2NRTIs	25	22
STARTMRK 試験 EFV を対照群とし、RAL の非劣性の RCT	24	52
GS102 試験 EVG/cobi/TDF/FTC vs TDF/FTC/EFV	17	89
ONCEMRK 試験 RAL1200mg の 1 日 1 回 vs RAL400mg の 1 日 2 回	13	0
CNA30024 試験 AZT/3TC を対照群とし、ABC/3TC の非劣性の RCT	8	16
GS934 試験 AZT/3TC を対照群とし、TDF/FTC の非劣性の RCT	8	26
総ページビュー数	1,733	2,249

⑦ 福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策（研究分担者：山内哲也）

このページでは社会福祉施設で働く方を対象に、研修会のお知らせと、冊子「HIV/AIDSの正しい知識」の PDF 版を掲載している（図 5）。PDF は 2019 年 5 月 7 日に第 2 版に更新した。ページビュー数と PDF 閲覧数は表 10 のとおりである。

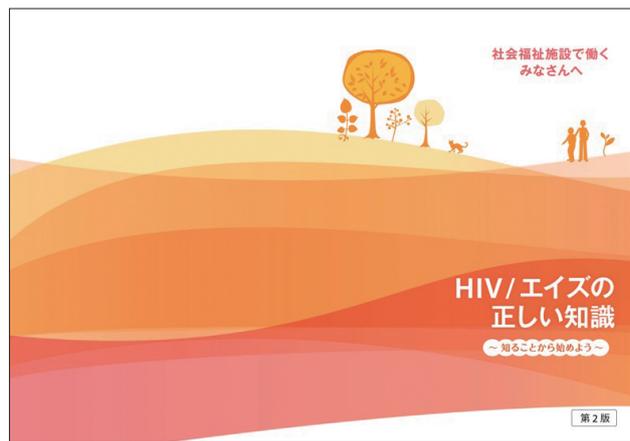


図 5 HIV/AIDS の正しい知識

表 10 PV 数と PDF 閲覧数

種別	2019	2018
ページビュー数	1,209	751
HIV/AIDS の正しい知識 第 2 版（平成 31 年版）PDF 閲覧数	527	—
HIV/AIDS の正しい知識 （全章版）PDF 閲覧数	115	269
HIV/AIDS の正しい知識 （抜粋版）PDF 閲覧数	68	126

⑧ エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究（研究分担者：安尾有加）

このページでは訪問看護師を対象とした研修会のお知らせと、冊子「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」の PDF 版を掲載している（図 6）。PDF は 2019 年 5 月 7 日に更新した。ページビュー数と PDF 閲覧数は表 11 のとおりである。



図 6 在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと

表 11 PV 数と PDF 閲覧数

種別	2019	2018
ページビュー数	472	374
「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」PDF 閲覧数	192	122

⑨ HIV 看護・介護の質の向上と学校での HIV 予防教育実践に関する研究 (研究分担者:佐保美奈子)

2019年1月1日～同年12月31日までの各ページビュー数は2,039であった(前年は2,005)。各ページのビュー数は表12のとおりである。

図 7 HIV 看護・介護の質の向上と学校での HIV 予防教育実践に関する研究

表 12 ページごとのビュー数

種別	2019	2018
トップページ	1,097	1,020
HIV サポートリーダー養成研修のご案内	753	752
HIV サポートリーダー養成研修申し込み	81	147
お問い合わせ	63	40
HIV サポートリーダー養成研修の風景写真	45	46

⑩ HIV 診療における外来チーム医療マニュアル

HIV 診療における外来チーム医療マニュアルは HTML 版と PDF 版を公開している (図 8)。2019年1月1日～同年12月31日までの HTML 版のページビューは49,058で、前年と比較して約1.5倍増加した。PDF 版の閲覧数は367(前年は358)であった。HTML 版各ページのページビュー数(上位10ページ)

は表13のとおり。

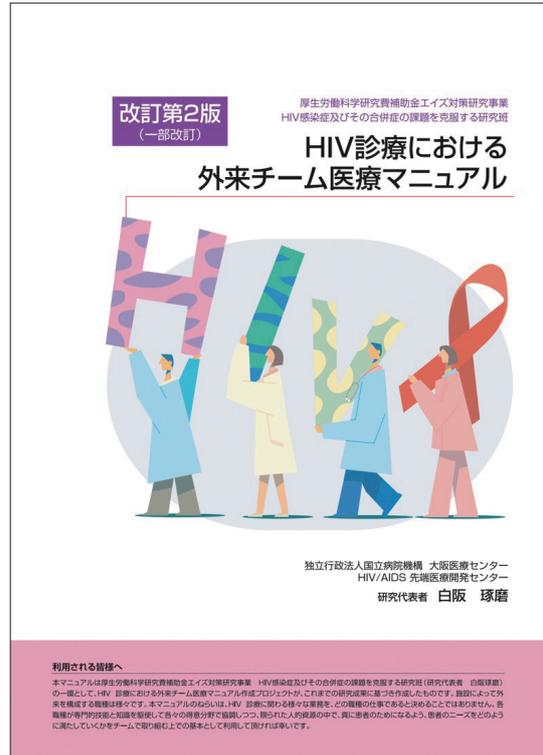


図 8 HIV 診療における外来チーム医療マニュアル

表 13 外来チーム医療マニュアルのページ別 PV 数

ページ	2019	2018
資料1) 医療者が普段から備えておきたい援助的コミュニケーションスキルについて	13,275	9,161
資料5) 身体障害者手帳	7,207	1,221
③診察	5,647	2,016
iv HIV 感染症と精神科診療	2,370	1,689
5) 抗 HIV 薬・抗 HIV 療法	1,817	2,971
資料6) 自立支援医療	1,536	1,202
4) パートナー・家族等への支援	1,406	917
トップページ	1,381	1,250
5) 各医療者の役割	1,132	583
2) 患者ニーズとおかれた状況に対するチームでの対応	963	761
以下省略		
総ページビュー数	49,058	32,179

表13にあるように「資料1) 医療者が普段から備えておきたい援助的コミュニケーションスキルについて」へのアクセスが多い。

表14では、このページへの来訪者が Google でのような検索キーワードで訪れたのかを集計した。(集計期間は2019年10月1日～12月31日までの3ヶ月間)

表 14 検索キーワード別クリック数

検索キーワード	クリック数
hiv 障害者手帳	280
hiv 微熱	276
治療的コミュニケーション	197
治療的コミュニケーションとは	143
エイズ 微熱	111
エイズ 障害者手帳	90
援助の人間関係とは 看護	87
コミュニケーション技術 看護	83
治療的コミュニケーション 目的	80
hiv 身体障害手帳	74

10 項目中 4 項目で検索キーワードに「コミュニケーション」が含まれており、他 1 件も「援助の人間関係」であることから、多くの閲覧者が医療関係者間、あるいは医療関係者と患者やその周辺にいる方とのコミュニケーションに関する情報を求めていると思われる。

また「障害者手帳」というキーワードが 3 件含まれているが、これは 2018 年には上位 10 件に無かったキーワードである。

⑪ おくすりガイド

ここでは抗 HIV 薬の添付文書や Q&A、患者向説明文書などを掲載している（図 9）。2019 年はすでに発売中止になった薬を削除するとともに、新たに承認された薬を追加したり、添付文書の版を更新した。また添付文書では読み方のアドバイスや重大な副作用の解説、副作用の症状とその類似語、定義の解説を表示させることができるが、そのソースプログラムを全面的に書き換えて、より早く表示されるようにした。

2019 年の総ページビュー数は 57,823 で、前年と比べ 1.2 倍に増加した。2019 年の上位 10 ページのページビュー数は表 15 のとおりである。なお各ページは公開時期が異なるため単純な比較はできない。



図 9 おくすりガイド

表 15 おくすりガイドの PV 数

ページ	2019	2018
抗 HIV 薬全般に関する Q&A	11,018	9,848
ザイアジェン錠 300mg の Q&A	5,948	550
ツルバダ配合錠の添付文書	4,857	4,442
デシコビ配合錠 LT / デシコビ配合錠 HT の添付文書	2,640	1,301
エジュラント錠 25mg の添付文書	2,425	1,678
トリメク配合錠の添付文書	2,398	990
アイセントレス錠 400mg の添付文書	2,250	3,991
ビラセプト錠 250mg の Q&A	2,032	337
レトロビルカプセル 100mg の添付文書	1,805	1,724
ストックリン錠 200mg / 600mg の添付文書	1,577	2,295
以下省略		
総ページビュー数	57,823	47,659

最もアクセスの多いページは「抗 HIV 薬全般に関する Q&A」で、2018 年も最も多かった。他は 2019 年になって急にアクセス数が増加した薬が多い。特にザイアジェン（ABC）やビラセプト（NFV）は初期の抗 HIV 薬であるにも関わらず、アクセス数が数倍～10 倍に増加している。これらのページにアクセスしたキーワードを調べると、ABC では「薬飲んだ後 お菓子」やそれに類似するキーワード、NFV では「薬 飲んだ後 飲み物」やそれに類似するキーワードであった。つまり抗 HIV 薬というよりも一般的な薬の飲み方に関する検索を行ったところ、これらのページが上位に表示されたのが要因と思われる。

⑫ HIV 感染症ってどんな病気？

「HIV 感染症ってどんな病気？」は HIV 感染症や免疫にあまりなじみのない方の理解を助けるために作成し、2006 年末に公開した（図 10）。2019 年の総ページビュー数は 88,786 で前年と比べ 1.5 倍に増加した。2019 年の上位 10 ページのページビュー（PV）数は表 16 のとおりである。



図 10 HIV 感染症ってどんな病気？

表 16 「HIV 感染症ってどんな病気」の PV 数

ページ	2019	2018
CD4 陽性リンパ球細胞の数	16,818	11,678
今は症状がありませんか？	16,119	4,103
HIV に感染すると	10,541	6,074
なぜ免疫力が弱くなるの？	7,877	2,947
HIV と AIDS は違う！	7,839	5,183
HIV の増え方	7,254	4,803
HIV について	6,695	3,799
プロテアーゼ阻害薬	5,791	6,117
CCR5 阻害薬	4,997	3,828
インテグラーゼ阻害薬	3,526	3,742
総ページビュー数	88,786	51,076

「CD4 陽性リンパ球細胞の数」が 2018 年に続いて 2019 年も最もアクセスが多い。その他は「プロテアーゼ」「インテグラーゼ阻害薬」を除きアクセス数が増加している。

⑬ 早わかり！症状から探す重大な副作用

このシステムは、まず症状を選び、次に服用している抗 HIV 薬を選択することで、重大な副作用に該当するかどうかを判定することができる。2009 年 2 月より公開している（図 11）。2019 年のこのシステムへのアクセス数は 1,011（前年は 1,420）であった。



図 11 早わかり！症状から探す重大な副作用

⑭ 感染初期の診療－急性感染検査外来－について

大阪医療センター感染症内科で実施されていた急性感染検査外来は平成 27 年 3 月末をもって休診となった。これに伴ってホームページもトップページには掲載せず「アーカイブ」の下に設置し、掲載内容も休診のお知らせと「急性感染とは」「感染の可能性のある行為とは」「結果が陰性の場合」「結果が陽性の場合」を 1 ページに掲載しているだけである。しかし 2018 年からこのページへのアクセスが急増し、2017 年は 2,298 ページビューだったのが 2018 年は 36,626 ページビュー、2019 年はさらに増加し、141,511 へと増加した。

2019 年の同ページへの来訪者の 99%が検索による。2019 年 1 月 1 日～12 月 31 日までの検索キーワードとクリック数を表 17 にまとめた。

表 17 急性感染検査外来の検索キーワード

検索キーワード	クリック数	クリック率	掲載順位
hiv 初期症状	22,557	16.33%	3.41
エイズ 初期症状	13,347	13.1%	3.58
hiv 初期症状 発熱	3,704	27.72%	2.09
エイズ 初期	2,313	25.57%	2.1
エイズ初期症状	1,890	13.3%	3.42
hiv 初期症状 いつから	1,803	7.61%	5.61
hiv 初期症状	1,779	17.89%	3.27
hiv 症状	1,619	2.98%	10.26
エイズ 初期症状 男性	1,589	9.25%	5.59
hiv 初期	1,520	30.83%	2.18

検索キーワードに「初期症状」が多いことから、HIV やエイズに関する基礎知識を調べる中で当サイトにアクセスしてきたと思われる。

⑭ 冊子（紙媒体）の郵送お申し込み

ホームページから冊子（紙媒体）の郵送申し込みができるページを2019年7月23日に公開した（図12）。申し込みができる冊子は以下である。

- 抗 HIV 治療ガイドライン（A4版）
- 抗 HIV 治療ガイドライン（縮刷版）
- HIV/AIDS の正しい知識
- 抗 HIV 薬 Q&A
- 精神医療従事者のための HIV/AIDS ハンドブック
- HIV 感染症と精神疾患ハンドブック
- あなたに知ってほしいこと
- あなたと、あなたのいいヒトへ
- Healthy & Sexy
- 在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと

申し込み受け付けを開始した2019年7月23日から12月31日までの申込件数は105件だった。内訳を表18に示す。

表 18 冊子（紙媒体）の郵送申し込み件数

冊子	件数	冊数
抗 HIV 治療ガイドライン（A4版）	66	223
抗 HIV 治療ガイドライン（縮刷版）	51	176
HIV/AIDS の正しい知識	50	465
抗 HIV 薬 Q&A	48	143
精神医療従事者のための HIV/AIDS ハンドブック	38	213
HIV 感染症と精神疾患ハンドブック	40	189
あなたに知ってほしいこと	41	512
あなたと、あなたのいいヒトへ	33	206
Healthy & Sexy	32	336
在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと	20	1,568
合計	159	4,031

「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」では自治体から800冊、大学病院から200冊など大口の申し込みがあった。

依頼者の情報

氏名 必須

メールアドレス 必須

所属先 必須

部署名 任意

〒

住所 必須

送付先（住所と異なる場合） 任意

電話番号 必須

内線番号 任意

FAX 任意

ご希望の冊子（在庫状況により、ご希望に添えない場合がございます）

*必ず1つ以上の冊子にご記入ください。

抗HIV治療ガイドライン（A4版）を 冊

抗HIV治療ガイドライン（縮刷版）を 冊

HIV/AIDSの正しい知識を 冊

抗HIV薬 Q&Aを 冊

精神医療従事者のためのHIV/AIDSハンドブックを 冊

HIV感染症と精神疾患ハンドブックを 冊

あなたに知ってほしいことを 冊

あなたと、あなたのいいヒトへを 冊

Healthy & Sexyを 冊

利用方法

当てはまるものにチェックをお付けください。

研修会（ 医療従事者向け 院内職員 その他一般）

勉強会（ 医療従事者向け 院内職員 その他一般）

講演会（ 医療従事者向け 院内職員 その他一般）

その他

備考

図 12 冊子（紙媒体）郵送お申し込み

(3) ページアンケートの集計

各ページからのアンケートの回答は、2019年1月1日から同年12月31日までに計159件あった。内訳は表19のとおりである。

表 19 ページアンケートの集計結果

評価	2019	2018
役に立った	124	96
一部、役に立った	22	10
役に立たなかった	13	6
回答数	159	112

送信ページごとの評価を表 20 にまとめた。

表 20 送信ページ別の評価

送信ページ	役に立った	一部、役に立った	役に立たなかった
抗 HIV 治療ガイドライン	13	0	0
HIV 感染症ってどんな病気？	61	13	12
おくすりガイド	9	2	0
推奨処方エビデンスとなる臨床試験	0	0	0
外来チーム医療マニュアル	12	1	1
研究の概要	0	0	0
トップページ	4	1	0
その他資料・冊子のダウンロード	1	1	0
急性感染外来	18	4	0
福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策	1	0	0
エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携	1	0	0
地域 HIV 看護における拡大戦略の研究	2	0	0
研究者プロフィール	1	0	0
精神心理班	0	0	0
HIV 陽性者の歯科診療の課題と対策	1	0	0
合計	124	22	13

このページアンケートでは以下の意見が寄せられた。

「役に立った」と評価された意見。

(カッコ内は送信ページ)

うちも AIDS をもらっています

(抗 HIV 治療ガイドライン)

わかりやすいです。一発で理解できましたありがとうございました。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

わかりやすく、助かりました

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

的確な情報をありがとうございます。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > CD4 陽性リンパ球細胞の数)

cxcr4 阻害剤ができるといいですね

(HIV 感染症ってどんな病気？ > CCR5 阻害薬)

「抗 HIV 薬」と「抗ウイルス剤」が混在している。統一すべきと思う。

(抗 HIV 薬全般に関する Q&A 第 10 版)

ARC の説明がほしい。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > なぜ免疫力が弱くなるの？)

u と ul の混在が見られる。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > なぜ免疫力が弱くなるの？)

増殖ポイント の意味が分かりにくい。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > どんな治療なの？)

ビクトルビの薬価決定から、本ガイドラインのアップ。早いですね～！びっくり。

(抗 HIV 治療ガイドライン)

感染の仕方がわかりやすい

(研究者プロフィール)

性行為をしてから、どれくらい経って検査を受けたら、いいでしょうか？

(感染初期の診療ー急性感染検査外来ーについて)

今まで知らずにやってたことがいろいろわかりました

(ビラセプト錠 250mg の Q&A)

ウイルス学勉強中の医学生だが、インテグラーゼ と逆転写酵素の関係性が分かりやすかった

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

初回治療の錠剤が閲覧できませんでした

(抗 HIV 治療ガイドライン)

もの凄く役に立ちました。早い段階の早期発見、今は認識が変わり特定の数値に属したら即治療を始めると回復の見込みがよく、それが結果として生命

の寿命を長期化出来ると解りました。治療が早くても遅くても良くないのが、この疾患の特徴の一つなんです。かと云って免疫が下がると日和見感染以外の疾患を引き起こす確率も高くなり、バランスとマメな経過観察の必要性も在るんですね。それにCD4に関して100以下だったとしても個人差が存在するでしょうが決められた治療をし患者もキチンと治療に参加すれば非感染者並みとは行かないまでも、医薬と医療の進歩、予防の観念で400台までCD4を持ち直す事が可能だと知る事がグラフで解り、あくまで可能だとしても日々の健康や自身の体調管理に努力しようと思えました。個人的にはです。個人的にですから。一番は医療の進歩の凄さと、専門医や専門医に属する医師の方々の努力や、惜しみない情熱と、それを支えて下さる看護師の方々の、日々の、努力、が在ってこそだと、常日頃から思っております。本当に、有難う御座います。感謝しております。患者に代わり御礼申し上げます。(トップページ)

ヒトのDNAにHIVのDNAが組み込まれる仕組みを調べていたので助かりました。(HIV感染症ってどんな病気？>抗HIV薬について)

検査の標準化ができていないのが問題ですが、下限を80とするのは高すぎると思います。せめて600。上限も1200ぐらいでは。(HIV感染症ってどんな病気？>CD4陽性リンパ球細胞の数)

不安になったらどういうタイミングで検査に行けばいいのかわからん体調不良になってから検査受けてねってこと？(感染初期の診療ー急性感染検査外来ーについて)

宅峰中学校でも.11月28日の総合で.エイズ学習を.保健委員会が.する予定です(HIV感染症ってどんな病気？>HIVに感染すると)

プロテアーゼの必要性が理解できた。(HIV感染症ってどんな病気？>プロテアーゼ阻害薬)

勉強になりました。ありがとうございました。

(トップページ)

「一部、役に立った」と評価された意見
(カッコ内は送信ページ)

過去のガイドラインもどこかで確認できるようにして頂けるとありがたいと思います。過去のデータをPDFで持っているのですが、2018年3月版をうっかり削除してしまいました。

(資料・冊子・研究報告書のダウンロード)

服薬に関する説明はあまり理解できない。
(抗HIV薬全般に関するQ&A 第10版)

調べ方と必要性は理解しました。その後の指針が大事かと思えます。ウイルス量が減る理屈、ウイルス量が減っていたのに増えた場合。その増えた場合に対するの捉え方とデメリットになりえる理由。何故、知る必要があるか？日々の生活でウイルス量を増やさない為の、例え微力で有ったとしても、方法や食材や食生活が塵も積もれば山となるだと思うので。本人の認識、自覚へも繋がる。

(HIV感染症ってどんな病気？>ウイルス量)

もう少し細かい段階で書いて欲しい

(HIV感染症ってどんな病気？>免疫システムを破壊するHIV)

国立国際医療研究センターで10年前頃に人間ドックを受け、陽性反応になった。その後に同病院で詳細検査を受けた結果、感染していないとのことであった。希にこのような人がいると言われた。3年前に手首の手術を受ける時の血液検査で陽性反応になり、簡易的な詳細検査を受けた結果、陰性判断になったが、必ずしも感染してはいないとのコメントがついた。感染するようなセックスをしたことはなく、困惑してる状況です。感染を疑われるようなことのない精度の良い検査方法の開発を強く希望しています。(感染初期の診療ー急性感染検査外来ーについて)

HIV感染者は服薬すれば医療機関の就業も問題ないのですか？

(トップページ)

手術前に疑いと結果がでました。医師は多分大丈夫だろうと念の為。避妊はしていたので心当たりは口から以外考えにくいです。受付に間に合わなかったので明日検査にいきます。とてもショックな出来事が続き不安です。いつでるか分からない病気になってもならなくても現在苦しい思いをしています。

(外来チーム医療マニュアル)

役立つ

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 病気から体を守る免疫)

意味不明でした

(HIV 感染症ってどんな病気？ > CCR5 阻害薬)

「役に立たなかった」と評価された意見

(カッコ内は送信ページ)

クスの種類が知りたい

(外来チーム医療マニュアル)

難しい単語が多くて分かりません

(HIV 感染症ってどんな病気？ > なぜ免疫力が弱くなるの?)

(4) Web サイト全体に関するアンケートの集計

2019年1月1日から同年12月31日までのアンケート送信数は10件であった。その内訳は表21のとおりである。

表 21 サイト全体に関するアンケート

設問		計
年齢	10代	0
	20代	0
	30代	0
	40代	3
	50代	1
	60代以上	6
性別	男性	9
	女性	0
あなたの立場	患者	4
	患者の家族・友人等	2
	医療関係者	2
	その他	2

このホームページをどこでお知りになりましたか？	検索エンジン	8
	他のホームページからのリンク	0
	友人・知人に教えてもらった	0
	医療関係者に勧められた	0
	その他	2
役に立った内容	薬カード	1
	Q & A	4
	患者向説明文書 (翻訳)	2
	添付文書情報	2

自由記述欄 (欲しい情報、ご意見、ご要望) に入力のあった投稿を以下に紹介する。

[ほしい情報]

全国の最新拠点病院とその直通連絡先。

最新の拠点、ブロック病院がキチンと解っていれば、担当医に報告の上、出先地域の最寄り拠点、ブロックへ体調を崩しても、最短で手間もなく神札して貰えるので。

(患者の家族)

一番は365日24時間、生活を共にしてhivキャリアの方をサポートし、手助けしている、身近な人、が居ます。

その方へのケアを含めて、病院や福祉等も関わり手助けして頂ける、サポート体制が在れば、すべてを背負わず抱えず苦しい思いが、和らぎます。

そう云う情報を発信して終わりではなく、関わって頂ける情報をホームページへ、紹介して頂けると助かります。

団体等の情報ではなく国の福祉の生きた情報が、知りたいです。

(患者の家族)

抗 HIV の薬の進展度

(立場不明)

CD4 陽性のふやす方法。

(患者)

[4. ご意見、ご要望]

感染科の担当医先生や看護師スタッフへ、直通で繋がる、メールアドレスが在れば、もの凄く助かります。対面では云えない事もあるので。

(患者の家族)

時代が新しくなり、情報も日々更新され変わっています。

その上で、時代がかわり次のステージに世の中が、進もうとしています。

HIVに関して、予防策の一つとして新しく発案された、医薬を予め摂取し、予防をすると云う方法が世界で、拡がりつつあります。

認可され始めている国も多くなりました。

賛否両論や道義的な思想等も在る事は、重々承知し理解をしています。

その上で間違えた知識を得て、同じ過ちを犯さないように、暴露前予防策、暴露後予防策に対する、情報の必要性を議論し、一定数は必ず趣旨とは違う認識をする輩もいますが、情報開示もしくは会合等で、前向きに議論して頂ければ嬉しく思います。

(患者の家族)

考察

当サイトのページビュー数は計測開始後ゆるやかに増加を続けていたが、2014年をピークに減少しつつあった。しかし一転2018年には前年比1.6倍に増加し、2019年はさらに前年比2.2倍に増加した(図13)。その要因としてはまずスマートフォンの普及が考えられる。スマートフォンでいつでもどこからでもインターネットに接続することが可能となったため、検索等で当サイトを閲覧する人が増えたと考えられる。

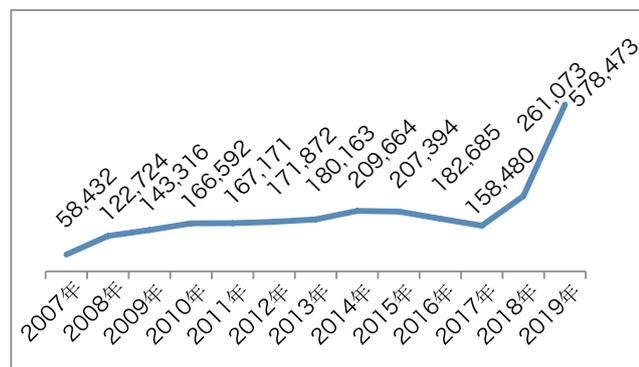


図13 1年ごとのページビューの推移

当サイトへの流入元は2019年の場合、92.58%が検索サイトからである。検索以外はソーシャルメディア、他のサイトのリンクから、お気に入りやブックマーク、メールに記載されたURLなどである。検索サイトの中ではGoogleが63.2%を占めるため、2019年1月1日～同年12月31日までの検索キーワード

を調べると、「hiv 初期症状」が一番多く、「エイズ 初期症状」「エイズ 症状」が続く(表5)。「hiv 初期症状」「エイズ 初期症状」で検索した結果、閲覧されたページは「感染初期の診療ー急性感染検査外来ーについて」である。このページは大阪医療センター感染症内科で実施していた急性感染検査外来に関するページだが、現在は休診中のため、

- 急性感染とは
- 感染の可能性のある行為とは
- 結果が陰性の場合
- 結果が陽性の場合

を簡潔に1ページにまとめている。近年、簡潔な記述は検索順位に有利に働くためか、Googleで「hiv 初期症状」「エイズ 初期症状」等で検索すると常に検索順位が5番以内に表示され、一時的には検索順位1位よりも上の「強調スニペット」と呼ばれる領域に表示されることもあった。強調スニペットは、検索キーワードが質問であると判断された場合、ユーザーの質問に回答しているページがプログラムで検出され、検索結果に強調して表示されるものである。このように「感染初期の診療ー急性感染検査外来ーについて」は閲覧数が非常に多いものの、1ページのみで完結しているため、直帰率が90.35%と高い。

検索キーワードには「過敏症」「弛張熱」「間欠熱」「紫斑」などHIV/エイズに直接関係しない症状や副作用名がある(表5)。これらのキーワードで検索すると、抗HIV薬の添付文書関連のページが表示される。「おくすりガイド」では添付文書に記載されている症状名や副作用名をクリックすると、その用語の解説がポップアップウィンドウで表示されるようにしている(図14)が、その解説ページが検索結果上位に表示されることが多い。このためHIV/エイズに限らず他の疾患による症状や副作用を調べた人も存在すると思われる。

閲覧数が2019年に大幅に増加した要因として、もう一つ大きいのは抗HIV治療ガイドラインのスマホ/PC版である。毎年PDFで公開していたが、スマートフォンやPCに最適化したページを作成し2018年11月27日に公開した。2019年はPDFの閲覧数が11,365に対してスマホ/PC版は135,398ページビューで、サイト全体に占める割合は23.41%である。

上記以外でも2018年と比較して2019年は「HIV感染症ってどんな病気?」が1.5倍、「おくすりガイド」で1.2倍、「HIV診療における外来チーム医療マニユ

アル」で1.5倍と、総じてページビュー数が増加している。

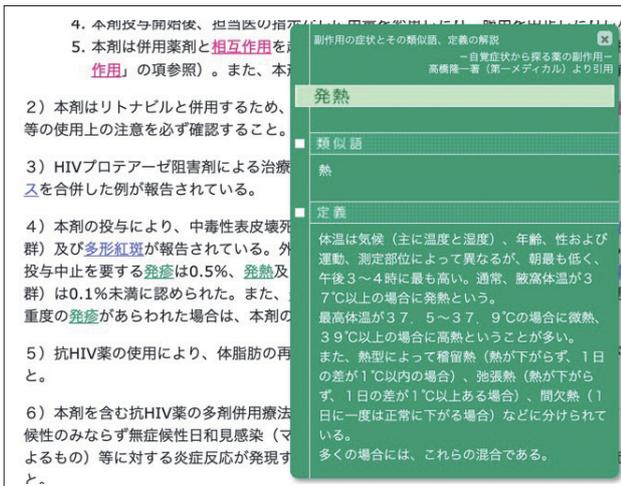


図 14 「発熱」の解説を表示したところ

結論

スマートフォンの普及で、いつでも、誰でも、どこからでもインターネットを利用できる環境が広がる中、ホームページの存在は重要である。しかし中には情報の信頼性に乏しいホームページも存在することから、研究班として最新の知見と正確な情報を発信することは大きな意義があると考えられる。特に当サイトでは、主に医療関係者向けに「抗 HIV 治療ガイドライン」や「推奨処方エビデンスとなる臨床試験」、「HIV 診療における外来チーム医療マニュアル」を掲載し、患者やその関係者向けには「HIV 感染症ってどんな病気?」や「おくすりガイド」など多様な情報を発信しており、いずれもが閲覧数が増加している。ただし閲覧数の多いページの中には、そのページだけで閲覧が終わる（他サイトへ移動すること）も多いため、当サイト内で関連するページがあれば横断的に移動できるような仕組みが必要と思われる。2020 年度の課題としたい。

健康危険情報

該当なし

研究発表

なし

知的財産権の出願・登録状況

該当なし